

(令和7年8月15日発表)

「市長報告、消防局救助隊員が 消防救助技術を競う全国大会に出場」

◆アピールポイント	救助のエキスパートが「技術」「スピード」「確実性」を競い合う消防救助技術大会において、当局救助隊員5名が県大会、関東大会を勝ち抜き、全国大会への出場が決定しました！ 代表選手が市長に対し決意表明を行います。 【市長の出席 有】
◆日時・期間	令和7年8月22日（金）15時から15時15分まで
◆場所	静岡市役所新館8階市長応接室
◆内容など	【次第】 1 全国大会出場報告及び訓練種目説明 消防局担当者から出場報告及び種目の説明 2 選手挨拶 選手代表から大会出場への決意表明 3 市長からの激励 4 記念撮影 【全国消防救助技術大会とは】 救助技術に必要な基本的要素を錬磨研鑽することを通じて、他の模範となる隊員を育成し、日頃鍛え上げた消防救助技術において市民の期待に力強く応えることを目的に実施している大会です。 開催日：令和7年8月30日（土） 開催場所：兵庫県立広域防災センター（兵庫県三木市）
◆対象・人数	出場隊員5名 詳細は別紙をご参照ください
◆備考	市内にて災害が発生した場合、災害対応を優先させていただき、市長報告を中止又は中断する可能性があります。

別紙資料 有

【問合せ】

静岡市駿河区南八幡町10番30号
静岡市消防局警防部安全対策課
担当 石川、片岡
TEL 054-280-0204

出場隊員等

1 陸上の部

○出場種目：ほふく救出

※ビルや地下街で煙に巻かれた人の救出を想定したもので、3人1組で1人が空気呼吸器を着装して長さ8メートルの煙道内（トンネル）を検索し、要救助者を屋外に救出したのち、2人で安全地点まで搬送する訓練

○出場隊員：島田消防署 消防士長 木村 拓斗（きむら たくと）
消防士長 西尾 真（にしお しん）
消防士 大村 海誠（おおむら かいせい）

○大会成績：県大会 第1位（この種目は、県大会1位で全国大会へ出場決定）

2 水上の部

（1）○出場種目：複合検索

※水中の行方不明者の検索を想定したもので、マスク・シュノーケル・フィンを着装し、シュノーケリングで障害物にみたてた救命浮環を突破しながら、水中に沈められたリングを検索して引き上げる訓練

○出場隊員：日本平消防署 消防士 山内 智瑛（やまうち ともあき）

○大会成績：県大会 第1位・関東大会 第1位

（2）○出場種目：基本泳法

※水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練で、「じゅんか飛び込み」で入水したのち、常に顔が水面に出た状態で基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ25メートルずつ泳ぐ訓練

○出場隊員：駿河消防署 消防士長 内藤 来（ないとう らい）

○大会成績：県大会 2位・関東大会 5位